

【警報発令中】^{まだ}手足口病が流行しています

【概況】

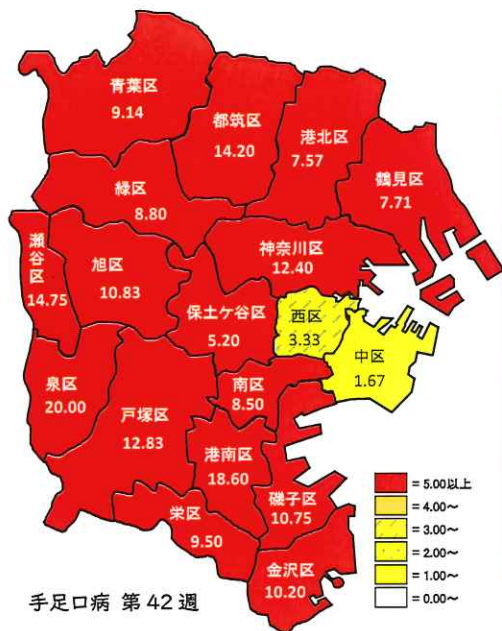
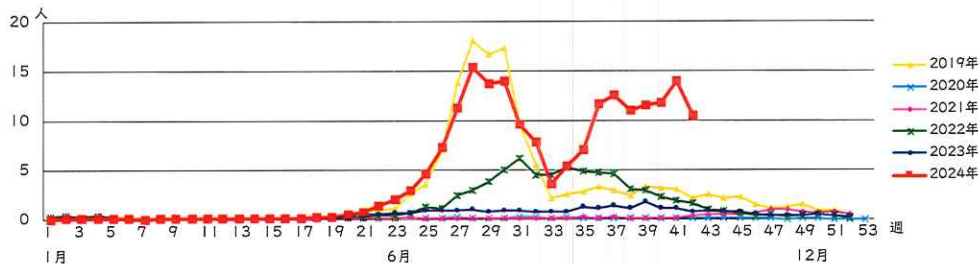
2024 年第 42 週（10 月 14 日～10 月 20 日）の定点あたりの患者報告数^{※1}は、横浜市全体で **10.44** となり、警報発令基準値(5.00)^{※2}を上回っています。8 月下旬以降**再び増加**しています。報告患者の年齢構成は、1 歳が 15.8%と最も多く、0～5 歳までで全体の 75.3%を占めています。依然流行が続いており、引き続き注意が必要です。

※1 定点あたりの患者報告数とは、1 週間に 1 回、定期的に患者発生状況をご報告いただいている医療機関（手足口病は小児科定点 94 か所）から報告された患者数の平均値です。

※2 警報は、終息基準値（手足口病では 2.00）を下回った場合に解除となります。

【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、2024 年 4 月下旬以降増加が続き、6 月下旬（第 26 週）に 7.22 となり、流行警報発令基準値（5.00）を上回りました。8 月下旬以降再び増加に転じ、第 42 週（10 月 14 日～10 月 20 日）は 10.44 です。



手足口病とは

通常 3～5 日の潜伏期において、手、足や口腔内（ときに肘、膝やおしりなど）に 2～3mm の水疱性発疹が出現します。熱は多くが 38℃以下です。1 週間程度で自然に治りますが、ごくまれに髄膜炎・脳炎などの重い合併症が起こる場合もあります。子どもを中心に、主に夏に流行しますが、大人も感染することもあります。元気がない、頭痛・嘔吐を伴う、高熱を伴うなどといった症状が見られた場合は、速やかな受診が必要です。アルコール消毒が効きにくいため、流水と石けんでのこまめな手洗いが大切です。患者の便にはしばらくウイルスが含まれるため、トイレの後やおむつ交換の後、食事の前には手洗いを心がけましょう。

※ 参考リンク [手足口病に関するQ&A](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/syu/seisaku/0000147140_0000147140_0000147140_0000147140_0000147140.pdf)|厚生労働省 (mhlw.go.jp)

登校（園）基準 「学校において予防すべき感染症の解説」では、「本人の全身状態が安定している場合は登校（園）可能。流行の阻止を目的とした登校（園）停止は有効性が低く、またウイルス排出期間が長いことから現実的ではない。」と記載されています。登校・登園については、主治医に相談することが望ましいでしょう。

【お問い合わせ先】 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課
横浜市医療局健康安全課

TEL 045 (370) 9237
TEL 045 (671) 2463